

- 北区では、森林環境譲与税について、子どもが木材に親しむ環境づくりに寄与する事業に優先して充当する方針である。
- 令和5年度は、北区初の施設一体型小中一貫校となる都の北学園建設工事において、教室や昇降口などに木材を活用し、内装の木質化を図った。

□ 事業内容

学校改築に伴う内装の木質化

- ・都の北学園建設事業（令和6年4月開校）
校舎及び体育館内装の木質化ほか
【事業費】6,815,076千円（うち譲与税37,340千円）
【実績】国産材使用量 61.91㎡



（南校舎2階昇降口）

□ 工夫・留意した点

教室や昇降口などに木材を効果的に活用した。

天井や壁などに木材を使用したことにより、木に囲まれた落ち着いた雰囲気のある学習環境を実現した。

昇降口は、多摩産材の杉の木ルーバーを設置し、ぬくもり溢れる顔づくりとした。また、校歴コーナーの展示棚は、旧神谷公園のケヤキを再利用した。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：37,590千円		②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：355,213人	⑤林業就業者数（※2）：1人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 北区では、都市部であるがゆえに子どもたちの身近に森林環境が少なく、関心が少ないことが課題となっている。
- このため、子どもたちが木材に親しみ、地球温暖化・森林保全について考えるきっかけとなるような環境学習を実施。

□ 事業内容

子どもたちが木材に親しみ、 地球温暖化・森林保全について考えるきっかけとなる環境学習事業

- ・友好都市であるとともに、森林環境学習についてのノウハウを持つ群馬県中之条町と連携し、森林保全に携わる当事者ならではの知識や経験を活用した小学生向け環境学習講座を実施した。実際に中之条町にて採集された木材や植物を利用した工作や、クイズ形式で行うなど、子どもたちが木材や森林環境に親しみを持てる内容とした。

【事業費】250千円（うち譲与税250千円）

【実績】区内在住・在学の小学生10名参加

□ 取組の背景

- ・都市部では森林環境に触れる機会が少なく、環境破壊や木材利用への関心が低い。
- ・林業従事者の減少が叫ばれる中、幼少期より森林環境への親しみや関心・理解を深めることで、林業従事という選択肢を与えたい。
- ・森林面積の多い友好都市との連携を活用したい。

□ 工夫・留意した点

- ・友好都市、民間企業、区の3者が、それぞれの持つノウハウを活用し、共同実施。
- ・リモートを活用し、遠方の友好都市が参加。
- ・実際に木材や植物を用いるなど、他ではできない経験を提供。

□ 取組の効果

- ・森林環境への親しみや関心・理解の深化
- ・積極的な木材利用の促進についての訴求
- ・小学生の林業従事への潜在的欲求の醸成
- ・環境問題に対する当事者意識の醸成



（リモート参加の様子）



（クイズの様子）



（工作の様子）

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：37,590千円		②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：355,213人	⑤林業就業者数（※2）：1人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より